

避難行動要支援者名簿の作成

市はあらかじめ避難行動要支援者を掲載した名簿を作成します。

この名簿情報を平常時から自治会や民生委員・児童委員、消防・警察機関などに提供することで地域での見守り活動や災害時の安否確認、避難誘導に活用してもらいます。

名簿に記載される情報

氏名、生年月日、性別、住所、電話番号、避難支援などを必要とする理由 など

名簿情報提供の同意確認

同意をすることで、要支援者の名簿が平常時から避難支援など関係者の手元に提供されます。事前に要支援者の情報が分かっていることで、災害が起こる前に地域でどのように支え合うかを準備することができます。

積極的な同意をお願いします。

避難支援等関係者とは

有事の際に名簿をもとに安否確認や避難誘導などの支援を行う人。

- ・災害時の地域リーダー（自治会長、自主防災組織の長、民生委員・児童委員）など
- ・自治会、自主防災組織
- ・消防・警察機関
- ・社会福祉協議会
- ・近隣住民などで支援をしてくれる人

※名簿情報を提供された避難支援等関係者には**守秘義務**が課せられています。

避難行動要支援者名簿の作成・提供の流れ

流れに沿ってそれぞれの役割や内容についての理解を深めましょう。

筑西市

避難行動要支援者名簿を作成し名簿情報提供について要支援者に同意確認

避難行動要支援者

市から届いた名簿情報提供の同意確認について同意書を市へ提出

筑西市

- ・同意書に同意がある人の名簿は避難支援等関係者へ平常時から提供
- ・同意書に同意がない人の名簿は平常時は封をして特定の避難支援等関係者（消防・警察機関など）へのみ提供し、緊急時に限り開封して使用

※緊急時は必要に応じて、同意の有無に関わらず提供します。

避難支援等関係者

日常の声かけや見守り、個別避難計画作成の協力、災害時の避難支援など

※名簿情報の提供に同意することで災害時の避難支援が必ず受けられることを保障するものではありません。

避難行動要支援者の避難支援

市では、高齢者や障がい者など災害時に自ら避難することが困難な人への支援を、適切かつ円滑に実施するために、筑西市避難行動要支援者避難支援計画を策定しています。地域の助け合いで災害に備えましょう。【申】【問】社会福祉課（本庁2階） ☎ 22-0525



詳しくはこちら



新花町自治会の防災訓練の様子

要支援者とは

施設や医療機関などに入所、入院している人を除く、災害時に**自ら避難することが困難な人**で以下のいずれかの要件を満たす人。

- ・要介護3以上の認定を受けている人
- ・身体障害者手帳1級又は2級を所持する人
- ・身体障害者手帳（視覚又は聴覚）を所持する人のみの世帯の人
- ・療養手帳(A)又はAを所持する人
- ・精神障害者保健福祉手帳1級を所持する人
- ・その他本人から申出があり市が避難支援などの必要を認めた人

個別避難計画の重要性

有事の際には、自助だけでは対応が難しい場合があります。そんな時に助け合える身近な存在が地域のコミュニティです。

誰が、誰を、どこへ、どのように避難支援をするのか個別にまとめて、地域の助け合いの輪を広げていきましょう。

新花町では、個別の避難計画を策定し、一人も取り残さない地域づくりを目指しています。



新花町自治会
稲葉 修 会長



市連合民生委員児童委員協議会
鈴木 正志 会長

自主防災組織
有事に備えて日常のコミュニケーションを

新花町では、毎年テーマを決めて防災訓練を実施することで、地域内の防災意識が高まっていると感じます。住民が取り残されることなく、無事に避難できることを想定して防災訓練を実施しています。が、みなさんに参加してもらっているのは、普段からの関係づくりのおかげだと思っています。

要支援者にとって、訓練に参加することは大変です。しかし、有事の際に助け合うためには訓練による備えが大切です。実際に要支援者と一緒に訓練をすると、避難経路が坂道だったり、危険な箇所があったりと避難するのが大変であるなど多くの気付きがあります。

いつ起こるかわからない災害だからこそ、普段から住民同士が声をかけ合い仲良くし、信頼関係を築くことが最も重要だと考えています。

民生委員は、地域住民すべての人が安心して暮らせることを目標に、住民と行政のつなぎ役として困りごとを抱えている人の支援をしています。

有事の備えとしては、一人で避難することが困難な要支援者へのサポートが必要で、特に災害の発生前の準備が大切となります。当人だけでなく親族を含めた話し合いや状況確認。また、災害時に無理な行動をしなくて済むように食料品や電灯などの備えを声かけしています。

このような活動をするにあたっては、要支援者に理解してもらう必要があります。日頃の声かけなどのコミュニケーションが大切になります。人が人を支えているからこそ日常の繋がりが重要です。

災害の発生前に十分な話し合いと状況確認を



新花町自主防災会
塚田 弘保 会長